

実験工作グループ活動報告

木村正弘*

1 第2期1年目の活動

市民研究員養成講座第2期でも実験工作グループは継続することになり、新たに参加者を募集した。第1期参加者8名全員が継続し、新たに3名が加わり11名の受講者になった。博物館より市民研究員の養成のほか、実験工作グループに子どもたちを対象にした「科学工作クラブ」、「ワクワク科学工作教室」、「夏休み子ども教室」の指導、「サイエンスフェスタ」への参加を要請されているので、毎月1回の定例学習会を軸に要請にこたえるように活動した。

実験工作グループの目標は「身近な素材を活かした、子どもたちにとって興味深い科学工作」教材を開発し、その教材を子どもたちに提供指導することによって「理論と実践に強い科学工作名人」を目指すことである。

そのために毎月1回諏訪東京理科大学の研究室で、市民研究員各自が調べたり考えたりして持ち寄った科学工作教材について研究検討しながら新教材の開発を行った。また、次に子どもたちに提供する教材の、指導方法を含めた細部にわたる詰めを行った。特に子どもたちに提供する教材の材料部品等については担当したグループ員が自作したり、調達したりした。また、準備に手間取った場合はグループに声掛けをして応援を求めたりし、協力し合いながら活動を展開した。子どもたちの指導の場面では担当者が中心になり、グループ員全員がサポートした。

今年度の活動は以下の通りで、毎月1回の研究会を通じて研究・検討・開発した教材を科学工作クラブ等に提供し、子どもたちの指導をした。

<今年度の活動>

	研究会	科学工作クラブ	ワクワク科学工作教室	その他
4月	13日			
5月	11日	21日 二足歩行ロボット	22日 スカイスクリューで遊ぼう	
6月	8日	18日 立体万華鏡	19日 空気砲のいろいろ	
7月	13日	16日 パスカルの三角形	17日 ホバークラフト	
8月	3日			夏休みこども教室 4日 立体万華鏡 5日 手品工作 6日 モーターを作る
9月	14日	24日 手作りスピーカー	25日 光のふしぎ	17日 サイエンスフェスタ参加 ホバークラフト 空気砲 ガウス加速器 ガウス鉄砲
10月	5日	22日 立体凧	23日 手作りカメラ	
11月	9日	19日 ホバークラフト	20日 おもしろ紙飛行機	
12月	14日	17日 風力発電	18日 手作りスピーカー	
1月	11日	21日 静電気モーター	22日 静電気で遊ぶ	
2月	8日		19日 輪ゴム連発銃	
3月	8日			20日 イベントデー アルコールロケット 空気砲 ホバークラフト まな板の鯉

* 諏訪東京理科大学教授

2 実験工作グループ参加者 11名

根橋 良紀 山田 勝彦 三井田 陸郎 吉江 俊彦 両角 健 両角 美恵子
小泉 正幸 笠原 修 松本 光夫 田名網 理恵 田中 洋二郎

3 活動風景



研究会



科学工作クラブ指導



ワクワク科学工作指導



サイエンスフェスタ出展